

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が2,740例あり、本年の累積報告数は70,710例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)ありました。本年の累積報告数は8例になりました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、本年初めての報告です。
- 梅毒の報告が2例(40歳代男性及び50歳代女性)(第11週追加報告分含む)あり、いずれも感染経路は性的接触、感染地域は国内です。本年の累積報告数は22例になりました。
- インフルエンザは、市内69の定点医療機関から報告はありませんでした。全国でも報告数はほとんどありません(全国定点医療機関数約5,000から14例の報告)。
- 小児科定点把握感染症の推移は、前週までと大きな変化はなく、発生数は低く推移しています。

◆ 今週のトピックス: <梅毒>

梅毒の年間累積報告数は22例になりました。梅毒の過去10年間の推移をみると、京都市では2014年以降急速に報告数が増え、昨年は感染症法施行以降最多となる78例の報告がありました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域*, 感染経路*の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- 二類: 結核 2例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 49例(肺結核 22例, その他結核 14例, 潜在性結核感染者 13例)うち喀痰塗抹陽性 6例】
- 新型コロナウイルス感染症 2,740例【1月以降の累積報告数70,710例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数8例】
- 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 22例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

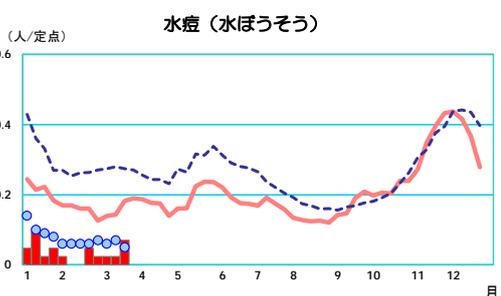
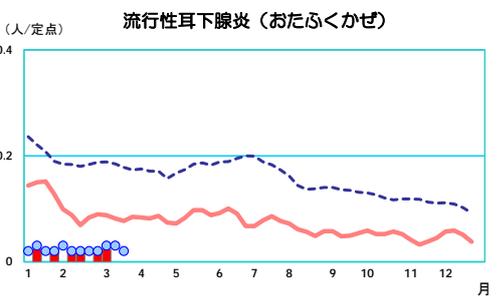
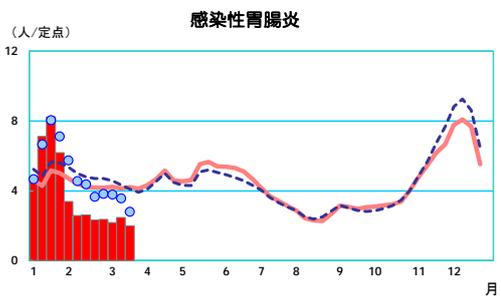
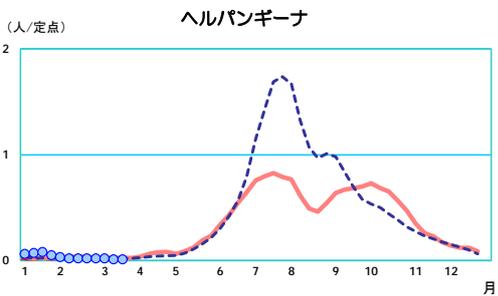
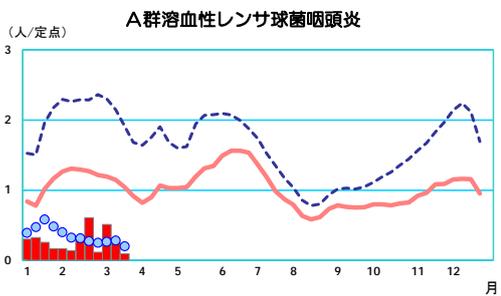
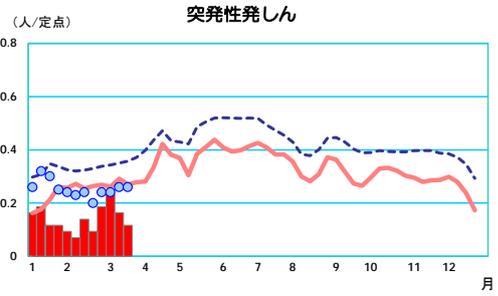
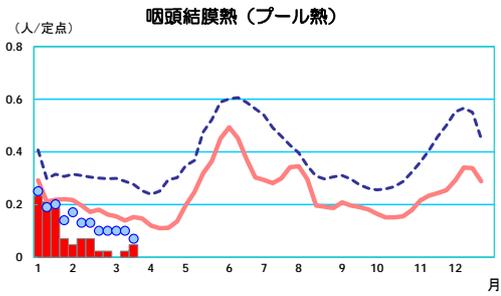
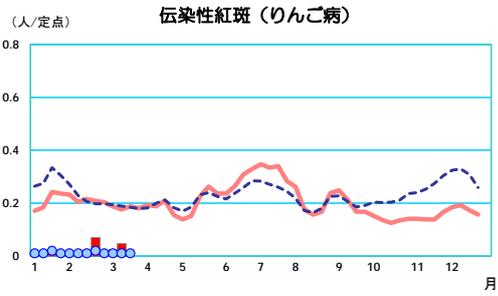
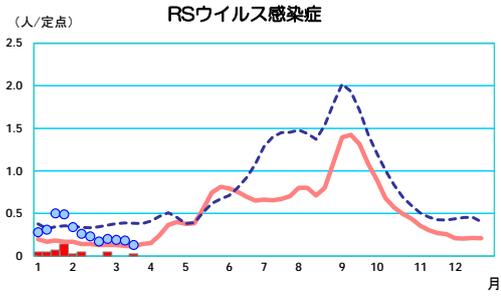
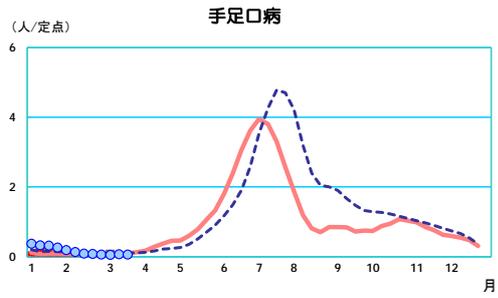
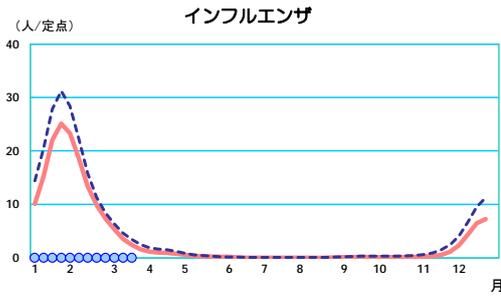
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.00	86
	② 突発性発しん	0.12	5
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.09	4
	④ 水痘	0.07	3
	⑤ 咽頭結膜熱	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

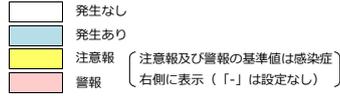
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <梅毒>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2022年3月30日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

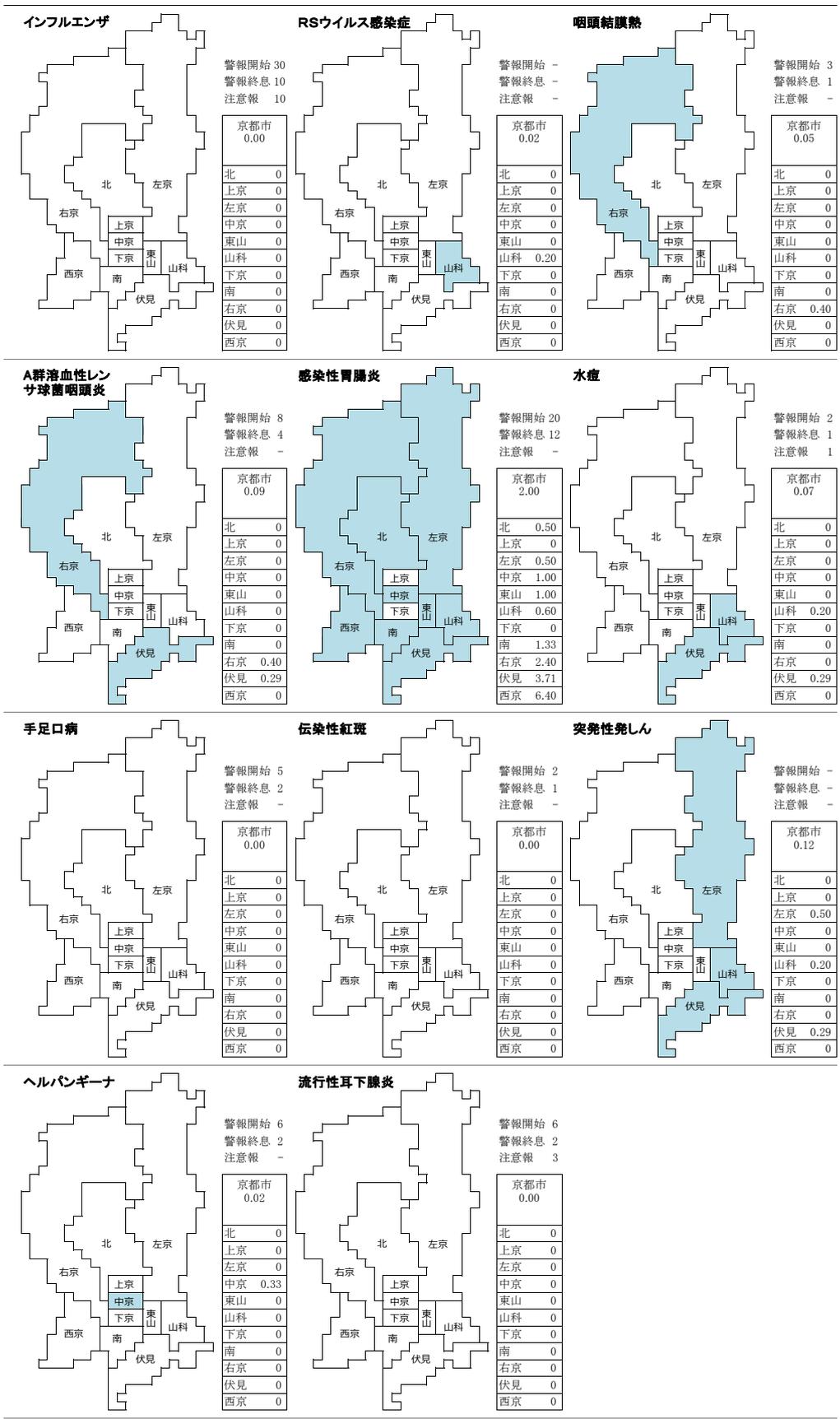
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年 第12週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第12週(3月21日～3月27日)トピックス: <梅毒>

京都市では、第12週に梅毒の報告が1例あり、年間累積報告数は22例になりました。梅毒の過去10年間の推移をみると、京都市では2014年に10例を上回って以降、急速に報告数が増えています。2017年は71例、2018年及び2019年は同数で66例と若干減少、2020年は更に減少して61例で減少傾向ともとれる推移でした。しかしながら、昨年は一転して増加し、1999年の感染症法施行以降最多となる78例の報告がありました。京都市の発生状況は全国とよく似た流行曲線を描いています。全国では2013年に1,200例を超えてから急速に増加して2018年は7,000例を超えました。その後やや減少したものの、昨年は京都市同様に感染症法施行以降最多の7,978例となりました。2017年以降は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行があった期間を含めて高止まりの状況が続いています(図1)。

京都市の昨年2021年の月別推移をみると、2017年以降と同様の発生状況で、COVID-19の影響は見られませんでした。本年の推移は、3月下旬で20例を超えており、高止まりしている2017年以降と比べても多い状態で、このままの推移が続けば、昨年同程度あるいはそれ以上となる可能性があります(図2)。全国では第12週までで2,219例の報告がありました。昨年同時期は1,366例だったので、全国でも昨年以上に報告が多くなっています。

全国の発生動向を、性別及び年齢階級別で比較すると、急増前の2012年は女性が約2割だったのが徐々に増加し、2021年には35%程度に達しました。特に20歳代女性の増加が著しく、全体に占める割合が最も大きくなっています。男性では20歳以上の各年齢層の割合が同じ程度であることは、あまり変化がありません。本年現時点の構成比は2017年以降とよく似ています(図3)。

現在のCOVID-19流行下でも梅毒の発生状況はそれ以前とあまり変わっていないと言えます。梅毒は一度罹っても終生免疫は得られず、何度でも感染します。感染の機会や恐れがある場合には、COVID-19流行時であっても、早めに泌尿器科・婦人科・皮膚科等の医療機関を受診しましょう。

図1 京都市及び全国の年間報告数 (2011年～2021年)

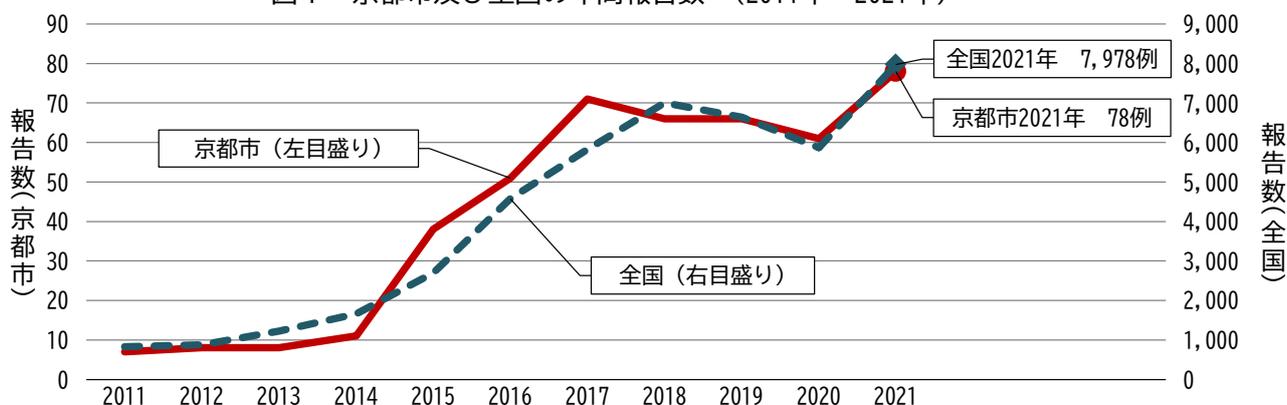
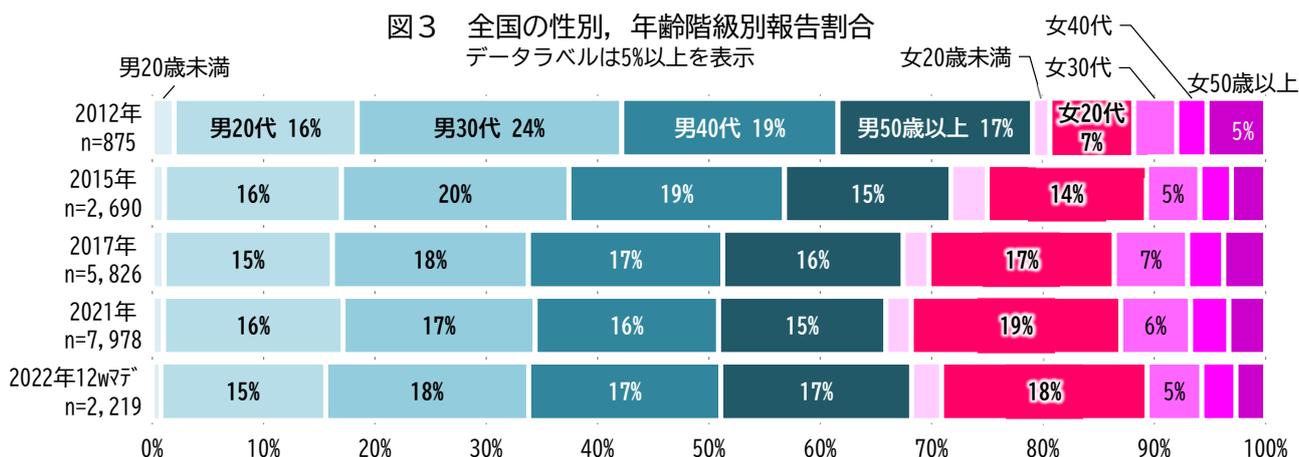


図2 京都市の月次累積報告数 (2017年～2022年3月)



図3 全国の性別、年齢階級別報告割合
データラベルは5%以上を表示



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第12週

疾病,行政区別報告数

2022年3月21日～2022年3月27日

データ入手日:2022年3月30日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1	-	-	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	2	2	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	2	26	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	1	2	4	86	3	-	-	5	1	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.20	-	-	0.60	0.20	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.40	0.40	2.40	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.29	3.71	0.29	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	6.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.02	0.05	0.09	2.00	0.07	-	-	0.12	0.02	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第12週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年3月21日～2022年3月27日

データ入手日:2022年3月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1							
咽頭結膜熱		2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-							
感染性胃腸炎		86	-	3	12	10	7	11	5	6	2	3	5	8	2	12							
水痘		3	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-							
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん		5	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02						
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.09	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-						
感染性胃腸炎		2.00	-	0.07	0.28	0.23	0.16	0.26	0.12	0.14	0.05	0.07	0.12	0.19	0.05	0.28						
水痘		0.07	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-						
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.12	-	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第12週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年3月30日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	2	-	-	1
咽頭結膜熱	3	1	1	-	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	26	5	22	11	4
感染性胃腸炎	113	100	102	94	106	86
水痘	-	2	1	1	1	3
手足口病	1	3	1	8	1	-
伝染性紅斑	-	3	-	1	2	-
突発性発しん	6	4	8	10	7	5
ヘルパンギーナ	-	-	-	1	-	1
流行性耳下腺炎	1	-	1	1	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	-	1	-	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	138	141	121	139	129	103

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	0.05	-	-	0.02
咽頭結膜熱	0.07	0.02	0.02	-	0.02	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0.60	0.12	0.51	0.26	0.09
感染性胃腸炎	2.63	2.33	2.37	2.19	2.47	2.00
水痘	-	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07
手足口病	0.02	0.07	0.02	0.19	0.02	-
伝染性紅斑	-	0.07	-	0.02	0.05	-
突発性発しん	0.14	0.09	0.19	0.23	0.16	0.12
ヘルパンギーナ	-	-	-	0.02	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.02	0.02	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	-	0.10	-	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.36	3.35	2.81	3.31	3.00	2.47

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。